

リモコンオートバイ変速機修理

10/6/5 高良

※ ニッケル水素充電電池を使っているリモコンオートバイである。



1. 故障状況:

リモコン操作すると後輪は回転するが、床に置き負荷を掛けると空転してしまい走らない。

2. 診断:

- ① 変速機(ギヤボックス)不良と判断し、分解し内部を点検する。
- ② モーター出力は左からテフロン歯車で伝達される。
- ③ 左から3番目のギヤは二重になっており、機械的過負荷になると、外側と内側のギヤ間が滑って空転し、力を逃がす仕掛けになっている。
- ④ 内ギヤは3個の出っ張りが、外ギヤの内向き突起と組み合わせたり、回転を伝達している。フリクションギヤは3個の隙間があり、このバネ性によって、過負荷になるとたわんで空転する。

この3個の突起が摩耗して滑りやすくなったと思われる。
(バネ性も老化で弱っている可能性も考えられる)

3. 修理:

- ① フリクションギヤの隙間3箇所に突起がやや出るようにプラ板のスペーサを挿入、接着した。
- ② 組立後、試運転でOKとなった。
(過負荷時の逃げ、空転がし難くなった可能性はある)

